

別紙

コルベンシュミット株式会社 高屋(広島)本社工場温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

コルベンシュミット株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市高屋町郷660番地1

(3) 業種

No. 3113 業種名:自動車部分品・付属品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成21年(2009)年度を基準年度とし

平成23(2011)年度から平成27(2015)年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計							
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：生産個数 (千個)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成21年度	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
エネルギー 起源CO ₂	1.97	1.87 5	1.87 5.2	1.82 7.9			
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量	1.97	1.87 5	1.87 5.2	1.82 7.9			
エネルギー消費 原単位 (原油換 算kl)	0.75	0.713 5	0.68 9.3	0.70 6.6			
実績に対する 自己評価	H24年の生産量は、基準年の生産量より1.1倍増加し、エネルギー効率が向上したのに加え下記のメニューにより、目標の5%を達成した。〔達成の要因：生産性の向上(改善活動)、搬送装置改善(エアシリンダーからサーボ化)、ボイラー暖房蒸気ドレイ回収装置設置(温度上昇による稼働時間削減)、工場照明順次更新LED or インバータ化(高効率照明)、コンプレッサー冷却水循環ポンプの更新2台(モータの高効率化)〕今後も改善活動を継続						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	電力用A重油の廃止 (A重油比率60%削減を達成)	自家発電装置の廃止 (H23年実施)
2	電気の使用量の削減	基準年H21年の電力量は自家発電と中電の電力量が合算している。一方、H23年は自家発電廃止後であり、中電からの供給量が増加した。 今後、電気の使用量の削減比較は、H23年ベースの比較とする 参考:各年の電力量、 H21:10642千kwh、 H22:10642千kwh、 H23:12865千kwh H24:12541千kwh	冷暖房装置の適正管理 高効率照明器具への更新 省エネ型電気機器への更新 変圧器統廃合&高効率変圧器への更新 休憩時間の消灯の徹底
3	設備総合効率の改善	対前年比 1.66%向上を達成	不良率の低減 チョコ停回数削減 段替時間の短縮
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
	製品の軽量化	客先要求100%達成	各プロジェクトの製品の実現化
	産業廃棄物削減	対前年比 5%削減	分別収集及び資源化の徹底

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。